



スマートフォンで
広報たじみを
持ち歩ける!

編集発行 多治見市役所 企画部 秘書広報課
〒07-8703 岐阜県多治見市日ノ出町2丁目15番地 ☎0572(22)1111
FAX 0572(24)3679 E-mail niyoko@city.tajimi.lg.jp
http://www.city.tajimi.lg.jp/ [Eメール版]http://www.city.tajimi.lg.jp/mobile



多治見市緊急メールに登録してください
携帯電話に緊急情報を送信します
https://services.sugumail.com/tajimi

「頑張ってる人を食で応援したい」

子どものころから「料理をすること」「食を提供すること」に興味があり、家ではよく台所でお手伝いをしていました。学校でも給食の時間が楽しみで、特に給食当番が大好きな女の子でした。ですから、高校3年生の時、進路に悩んでいた私に、母から「いざれ家庭を持つだろうから、栄養のことを勉強してみたら?」と助言され、すんなり自分の進路を決めることができました。大学では管理栄養士の資格を取得し、「頑張っている人を食で応援する仕事がしたい」と考えるようになりました。

私は現在、名古屋グランパス(以下グランパス)の栄養アドバイザーですがそのきっかけを作ってくださったのは、大学卒業後、非常勤で働いていた阿久比町(愛知県)の「スポーツ医科学研究所」の先生で

す。先生はグランパスのチームドクターでした。その当時、チームに栄養士がいなかったのが、貧血になった選手や疲労がとれない選手は全てドクターに相談していたようです。そこで、「チームには専門の栄養士が必要だろう」という



名古屋グランパス栄養アドバイザー
もり 森 裕子 さん
(旧姓 間宮/美坂町)

「だが、当然ながら調理人はちゃんといました。私のコミュニケーション下手も手伝い、調理人の方に受け入れてもらうまでに大変時間がかかりました。もう少し現場の思いを組み入れながら良かったと

ことになり、グランパスを紹介していただきました。チームに必要な存在へ紹介されてグランパスへ行くことになったのですが、最初から簡単にことは運びませんでした。チームに栄養士はいませんが、

今では思うことができますが、チーム初の栄養士だった私にはそれを教えてくれた先輩がいまませんでした。現在、スポーツ栄養士を志す学生やスポーツをする子どもを食で応援したいママ対象に勉強会を開いてい

チームに必要な存在へ

女性としての土台

ですが、栄養学の他に、今までのグランパスの経験で培った全てをできるだけ伝えるようにしています。また、グランパスの食育担当として多治見市を始め各地で食育講演を実施しています。サッカー選手の食事は特別なものではなく皆さんにも取り入れられることがたくさんあります。多治見市の学校給食でグランパスメニューを提供した時は、苦手な野菜が食べられた、などうれしい感想も聞いています。

私は女性としての土台は「日々の生活」で、その過ごし方が仕事にも表情にも表れると思っています。実家では季節の花が玄関や洗面所に飾られ、旬の食材が食卓に並んでいます。忙しくても日々の生活を大切にすることを心がけたいですね。それが内面からにじみ出る魅力となり、健康にもつながると思います。



輝く女性

本連載では、市内の事業所や地域など、さまざまな分野で活躍する女性のインタビューを掲載します

人口と世帯数の動き

平成28年11月1日現在

総人口

112,761人 (前月比 -39人)

男 54,914人 (前月比 -4人)

女 57,847人 (前月比 -35人)

世帯数

45,706世帯 (前月比 +13世帯)



200円バスでどこ行こう

せんげんやま 浅間山(小名田小滝)へミニ登山!

路線バスに乗ってミニ登山してみませんか。多治見駅北口から東鉄バス小名田線に乗り「小名田小滝」下車。可児方面へ向かい約10分で右に入り、小滝団地北側

の舗装された林道を登って約15分、駐車場前に鳥居があります。そこから砂利道の参道を約15分、浅間神社社務所脇の山道を抜けると展望台に到着。多治見市街地や周辺の山々の展望が広がります。

多治見市内 平日10時から16時 1乗車200円の東鉄バスで!